

落花生の生育状況 (6月29日現在、水戸市)

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	今後の栽培管理等
	本年	平年対比			
茨城県 (水戸市)	開花期 6月26日	開花期までの日数 (45日) かなり長い (平年+5日)	<p>生育期間(5月3半旬~6月6半旬)の平均気温は平年よりかなり高く(平年差+0.3℃)、日照時間は平年並(平年比100%)であった。降水量については6/2~3に207.5mmの豪雨があったため、かなり多かった(平年比234%)。なお、平年値は水戸地方気象台観測値直近5年間の平均値。</p> <p>播種は平年より1日早い5/12に実施した。出芽日数は11日で、やや長かった(平年+1日)。開花始は6/24で(平年+5日)、開花期は6/26で(平年+4日)、播種から開花期までの日数は45日とかなり長かった。</p> <p>平年と比べて、主茎長は平年並、最長分枝長は平年並、主茎節数は平年並、分枝数はかなり多く、地上部生体重は軽かった。</p>	開花の遅れは6/2~3の豪雨の影響が考えられる。	<p>開花期から10日以内にマルチを除去する(当試験区では6月28日にマルチを除去した)。</p> <p>病害虫については、発生に注意し適期防除を行う。</p>

表1 落花生の生育状況 (令和5年6月29日調査)

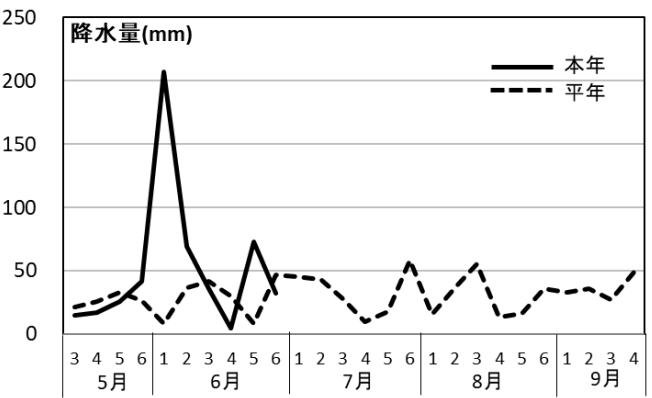
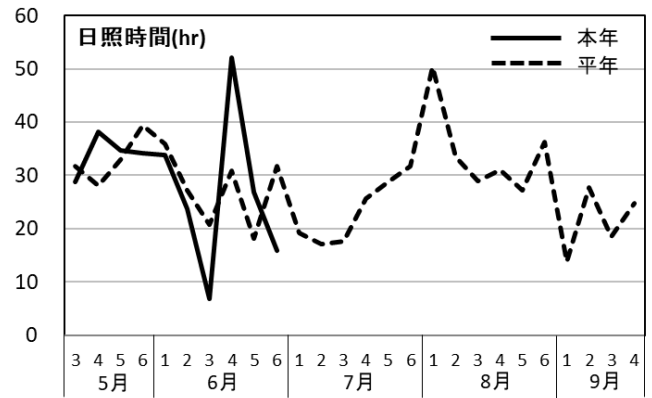
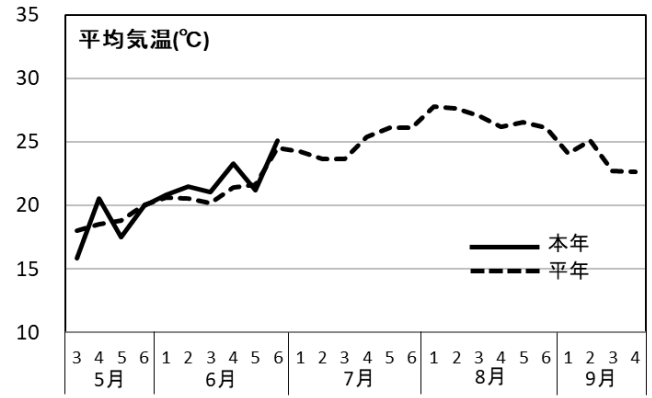
品種	播種期			出芽期			開花始			開花期			開花までの日数		
	本年 (月/日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月/日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月/日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月/日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)
ナカテ	5/12	-7	-1	5/23	-5	0	6/24	-2	+5	6/26	-2	+4	45	+5	+5
ユタカ		(5/19)	(5/13)		(5/28)	(5/23)		(6/26)	(6/19)		(6/28)	(6/22)		(40)	(40)

品種	主茎長			最長分枝長			主茎節数			分枝数			地上部生体重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
ナカテ	10.9	120	104	11.6	125	98	12.2	112	103	11.3	141	119	53.1	112	85
ユタカ		(9.1)	(10.5)		(9.3)	(11.8)		(10.9)	(11.9)		(8.0)	(9.5)		(47.3)	(62.2)

注：1. 平年値は直近5カ年(平成30年~令和4年)の平均値
 2. マルチ栽培、栽植密度6.9株/m²(平均畦間60cm×株間24cm)
 3. 前年差、平年差の月/日及び日数は実数値で示し、平年より遅い場合は+、早い場合は-で示す。前年比、平年比の主茎長等の項目は%で示す。
 4. ()内は前年または平年の実数値を示す。

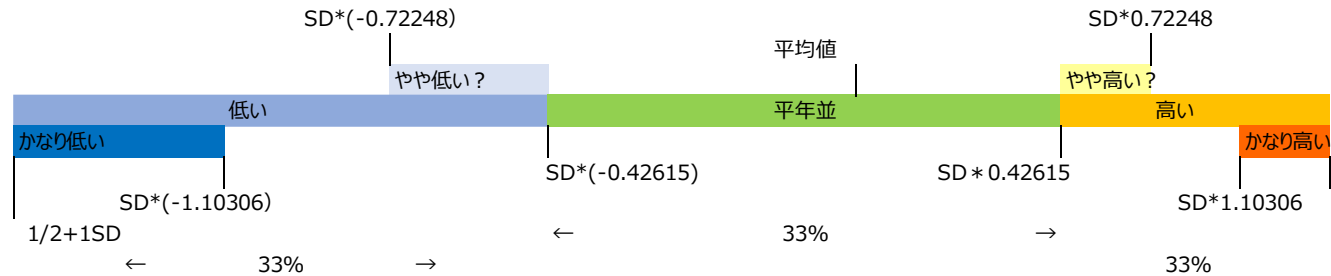


農研所内圃場における
ナカテユタカの生育状況
(6月29日撮影)
マルチ除去：6月28日
中耕培土：6月28日



気象と生育の平年値との比較表現について

天候や生育の測定値の平年値との違いの程度を、平年に比べて「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」という解説用階級区分で表しています。各階級の幅は、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。さらに、「低い（少ない）」「高い（多い）」の各33%のうち両端からの各10%を補足的表現としてそれぞれ「かなり低い（かなり少ない）」、「かなり高い（かなり多い）」と表しています。



中心からの偏差

平均が0分散が1の標準偏差	%	表現	確率分布の面積	
	0.995	かなり多い	中心から16.5%+20%以上	33%多い
1.10306	0.865	多い	中心から16.5%+20%まで	
0.72248	0.765	やや多い	中心から16.5%+10%まで	
0.42615	0.665	平年並	中心から16.5%まで	33%同等
0	0.5	平年並		
-0.42615	0.335	平年並	中心から16.5%まで	
-0.72248	0.235	やや少ない	中心から16.5%+10%まで	33%少ない
-1.10306	0.135	少ない	中心から16.5%+20%まで	
	0.005	かなり少ない	中心から16.5%+20%以下	